

第39回東海地区みどりの少年団サマージャンボリー開催

東海三県のみどりの少年団が一堂に集い、自然の中で緑の大切さを学び、交流を深めることを目的とした「みどりの少年団サマージャンボリー」（国土緑化推進機構、三菱UFJ環境財団及び愛知県・三重県・岐阜県の各緑化推進委員会主催）を、8月6日(水)から8月8日(金)まで2泊3日の日程で「愛知県民の森」において開催しました。

参加者は、愛知・三重・岐阜の少年団81名（引率者含む）で、岐阜県からは、一之瀬みどりの少年団、多良峡もみじ少年団、海津のみどりの少年団、北方小学校みどりの少年団、牧谷小学校みどりの少年団の5少年団43名（引率者含む）が参加し、愛知県、三重県の少年団と交流を深めました。

森林環境学習では、「緑のお話」と題して森の働きなどについての話を聞き、体験活動では森林整備地の見学や丸太切り体験を行い、森林の役割や緑の大切さについて学びました。

また、班旗の作成、野外炊飯、川での水遊び、キャンプファイヤー、交歓会などの盛りだくさんの活動を行いました。



開会式の様子



野外炊飯



緑のお話



森林整備地の見学



丸太切り体験



キャンプファイヤー